



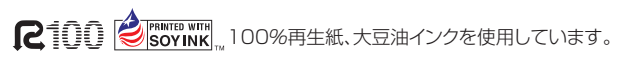
前回の特集「もったいない」に対して、市民82人から144件の意見をいただきました。代表的なものを紹介します。

今後、あなたが取り組むことができる「もったいない」はどのようなことですか？

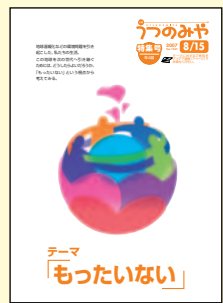
- 片道約9kmを渋滞にあきれながらも車通勤していたが、休日のある日、勤務先近辺まで自転車で行ったところ、車との差が15分程しか無いことに驚き、自転車通勤を考え始めた。温暖化防止、省エネには、何よりも実践することが大切。早速、安全第一を考えて、雨天、荒天を避けて気負わずにペダルをこいで通勤することに決めた。(南高砂町 50代)
- きれいな包装紙や箱などを見ると「これは何かに利用できないかな」と考え、素敵な封筒やブックカバーを作るなど、再利用している。その場でポイ捨てしないで、ちょっと考えてみるのが大切。(山本2丁目 50代)
- 部屋に誰もいないときには、扇風機や電気をつけ放しにしない。夏の暑い日はエアコンを使わず、ブルールに入る。(中島町 10代)
- マイ箸を持ち歩いて、割り箸は使わないようにしている。また、職場のトイレには「資源を大切にしよう」という張り紙をし、トイレットペーパーなどの無駄遣いをしないように心掛けている。(若草4丁目 30代)
- ガソリンを使って遠くまで安いものを買うのにはもったいない。やはり地産地消がベスト。一人ひとりが環境問題を考え、1日1回何か一つ「もったいない」と感じて行動を改めることが必要だと思う。(泉が丘3丁目 30代)
- 米のとぎ汁は、花や植物の肥料にしたり、フローリングのワックスがけに利用したりしている。シタケ、ブロッコリーの軸や大根の葉などは、捨てずに料理に使っている。もったいないは節約にもなる。(30代)
- ペットボトルの使い捨てをやめて、「マイ水筒」を持ち歩くようにしている。(鶴田町 40代)
- トレー付きではなくばらで売っているものを買うようにしている。どうしてもトレーが付いている場合は再利用している。(岩曾町 50代)
- 洋服は、できるだけ買わないで姉のお下がりを着ている。子どもは、近所の方からいただいたお下がりを着ている。また、亡母が縫ってくれたはんてんを今でも着用している。(城南2丁目 60代)

広報うつのみや特集号は、皆さんと一緒に考えていただきたいテーマを取り上げ、年4回発行します。また、毎月1日発行の通常号の次回(11月号)は、11月1日配布です。

広報うつのみや 特集号はホームページでも見られます。
<http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/>



前回の特集「もったいない」の概要



温室効果ガスの増加による地球温暖化が進行

二酸化炭素などの温室効果ガスが大量に排出され、地球の気温はかつてないスピードで急激に上昇し続けており、異常気象、自然生態系の変化などさまざまな影響が考えられる「地球温暖化」といわれる現象が起きています。宇都宮市の温室効果ガスも増加しており、今、私たちが温室効果ガスを減らし、地球温暖化を食い止めることが必要である。地球環境に大きな影響を及ぼす廃棄物について、市では「3R」をはじめとして発生抑制に取り組んでいる。ごみの減量や地球温暖化などへの取り組みを実践するには、「もったいない」の心を持つことが大切である。市では、平成17年度から「もったいない運動」に取り組んでいる。

世界が目指す「MOTTAINAI」

もったいない運動では、日常生活で実践できる「もったいない取組項目」を設定している。一つひとつの取り組みはとても簡単なものであるが、それらを継続して実践することが重要である。循環型社会の形成を目指すため、私たちは自然の恵みに生かされているという心を持ち、物を無駄にしない、使い切る、命を尊ぶなどすべてのものを大切にする「もったいない」の精神を再認識し、日常生活や事業活動の中で実践していくことが重要である。



料金受取人払



差出有効期間
平成21年8月
11日まで
【切手不要】

郵便はがき



(受取人)
宇都宮市旭1丁目1番5号

(宇都宮市役所)
宇都宮市総合政策部広報広聴課

行



3 2 0 8 7 4 0

3

氏名	住所	
年齢	歳	職業

差し支えがなければ記入してください。広報紙で意見を紹介する際には、氏名の記載はしません。なお、はがきの情報については、目的以外には使用しません。